



接続詞：等位接続詞



接続詞：等位接続詞：解説

- ① 基本
- ② 語や句の接続
- ③ 等位接続詞and
- ④ 等位接続詞or
- ⑤ 等位接続詞but
- ⑥ 等位接続詞so
- ⑦ 等位接続詞for
- ⑧ 等位接続詞yet
- ⑨ 等位接続詞nor

① 基本

接続詞 (conjunction) は、2つの文 (節) を結びつける働きをする単語である。

英語には**等位接続詞**と**従属接続詞** (従位接続詞) の2種類がある。

等位接続詞にはfor、and、nor、but、or、yet、so (FANBOYS) の7つがある。

等位接続詞 (coordinate conjunction) は**等位節**を導く。

He is poor, [等位節] but he is happy.¹

例えば上の例文では、等位接続詞butが等位節「**but** he is happy」を導いている。等位接続詞はその前にある節と接続して**重文**²を形成し、その二つの節が**対等の関係にある**ことを示す。等位接続詞自体は**構造的**には後半の等位節に含まれるが、**意味的**には等位接続詞を挟んで前後の部分が等しい関係にあることを示す³。

等位接続詞で2つの節を接続する場合、基本、**2つ目の節の前にカンマ** (「,」) を入れる。

● 等位節は前置が不可

○ He is poor, but he is happy.	彼は貧乏だ、 <u>しかし</u> 彼は幸せだ。 *but (「しかし」) は等位接続詞。
× But he is happy, he is poor.	
○ He is happy though he is poor.	彼は貧乏 <u>だが</u> 、彼は幸せだ。 *though (「…だが」) は従属接続詞。
○ Though he is poor, he is happy.	

従属接続詞節と異なり、等位接続詞節は前の節とのつながりが固定されているため、**前置ができない**⁴。

¹ 「he is happy」をbare coordinateと言い、「but he is happy」をexpanded coordinateと言う。(CaGEL, p.1278)

² 主述関係が成り立つ、対等の資格をもった部分が二つ以上並列的に含まれている文。「花咲き、鳥歌う」「冬が去り、春が来る」の類。

³ なお、その前にある節「He is poor」も等位節とされる。2つの等位節が「等位構造 (coordination)」を形成するとされる。

⁴ CaGEL p. 1291; CGEL p.921: "Clauses beginning with and, or, and but are sequentially fixed in relation to the previous clause, and therefore cannot be transposed without producing unacceptable sentences, or at least changing the relationship between the clauses:

They are living in England, **or** they are spending a vacation there.
***Or** they are spending a vacation there, they are living in England.

This is true for coordinators and conjuncts, but not for most subordinators."

● 等位節は独立した文になることが可能

○ But he is happy.	しかし、彼は貧乏だ。
× Though he is rich.	彼は貧乏だが…（尻切れ蜻 ^{とんぼ} の不完全文）。

従属接続詞節と異なり、等位接続詞節は**独立した文として成立**することができる。

② 語や句の接続

<u>Tom</u> or <u>Mary</u> is suitable for the position.	名詞句を接続（or）：トム または メアリがその地位にふさわしい。
We live in an age of revolution <u>in America</u> and <u>in the world</u> .	前置詞句を接続（and）：アメリカにおいて そして 世界において我々は革命の時代に生きている。
The Polish athletes <u>have succeeded</u> today, but , <u>may not repeat their success</u> tomorrow.	述部を接続（but）：ポーランド選手は今日成功したが、明日はそれを繰り返すことはないだろう。

等位接続詞andとor（そして^{まれ}にbut）に関しては、文（節）だけでなく語や句も接続することができる。

③ 等位接続詞and

❖ ^{アンド} A and B : ①AとB ; ②AそしてB。	
<u>He likes music</u> , and <u>she likes sports</u> .	文を接続（並列）：彼は音楽が好きで、 そして 彼女はスポーツが好きだ。
<u>The sun</u> and <u>the moon</u> are in the heavens.	名詞句を接続（並列）：太陽 と 月が、天にある。
We <u>walked</u> and <u>talked</u> .	動詞を接続（同時性）：私たちは歩き ながら 話した。
We live in an age of revolution <u>in America</u> and <u>in the world</u> . <small>②revolution=革命 ; age=時代。</small>	前置詞句を接続（並列）：米国において そして 世界において我々は革命の時代に生きている。
<u>The ice cracked</u> , and <u>he slumped into the cleft</u> . <small>②crack=割れる ; slump=落ちる ; 裂け目=cleft。</small>	文を接続（前後関係）：氷が割れて、 そして 彼は裂け目に落ちた。

等位接続詞andは、**並列**、同時性、前後関係、結果などを表すことができる。

4 等位接続詞or

❖ ^{オア} A or B : ①AまたはB ; ②AもBも～ない (否定文)。	
He's rich, or at least he appears to be rich. <small>※appear to be <形><形>に見える ; at least=少なくとも。</small>	彼は金持ちだ、 あるいは 少なくともそう見える。
Tom or Mary is suitable for the position. <small>※suitable=～に適している ; position=地位。</small>	トム または メアリがその地位にふさわしい。
Is this a pen or a pencil?	これはペンですか それとも 鉛筆ですか？
Tom doesn't smoke or drink.	否定文：トムは喫煙 も 飲酒 もしない 。

等位接続詞orは「Is this a pen or a pencil?」などの二択疑問文でも用いられる。

等位接続詞orを**否定文**で用いると、「AもBも～ない」の意の両義否定になるので注意。

5 等位接続詞but

❖ ^{バット} A but B : AしかしB。	
It's an old car, but it's very reliable.	それは古い車だ、 しかし それはとても頼りになる。
He's poor but happy.	彼は貧しいが幸せだ。

逆接⁵の等位接続詞butは、譲歩⁶の従属接続詞thoughによる書き換えができる。

6 等位接続詞so

❖ ^{ソウ} so <主語> <動詞> : だから<主語>が<動詞>をする。	
◇ so <主語> <動詞> : <主語>が<動詞>をするように (目的) (so thatのthatを省略した物)。	
I'm feeling slightly unwell today, so can you come some other day? <small>※slightly=少し ; 具合が悪い=unwell。</small>	私は今日は少し具合が悪いのです、だからいつか別の日に来てくれませんか？
Speak a little louder so (that) we can all hear you.	皆が聞こえるようにもう少し声を大きくして話してください。

順接⁷の等位接続詞soは、理由の従属接続詞becauseによる書き換えができる。

⁵逆接：ある条件に対して予期される結果の現れないことを示す表現形式。条件と結果との間に食い違いのあることを示すもの。「二時間待った。しかし、彼は来なかった」「努力したが、だめだった」の類。

⁶譲歩：自分の主張の一部または全部をまげて、相手の意見と折り合いをつけること。

⁷順接：ある条件に対して予期されるとおりの結果の現れることを示す表現形式。「君が来た。だから、うまく行った」「急いだったので、間に合った」の類。

7 等位接続詞for

❖ for <主語> <動詞>：なぜなら<主語>が<動詞>するからだ。	
I cannot tell whether she is old or young, for I have never seen her.	私には彼女が年寄りか若いかわからない、というのも私は彼女に一度も会ったことがないからだ。
He found it increasingly difficult to read, for his eyesight was beginning to fail.	彼はそれを読むのがますます困難に思った、なぜなら彼の視力が衰え始めていたからだ。
For it is not my intention to confuse you.	なぜならあなたを混乱させるのは私の意図するところではないからです。

等位接続詞forは、意味的には従属接続詞プリントで解説している従属接続詞becauseと似ているが、主に**補足的に理由を述べるため**に用いるため、意味はbecauseより弱い。

○ For he is rich.	彼は金持ちだからである。
× Because he is rich.	

forはsoやandと同じく等位接続詞であり、becauseのような従属接続詞ではないため、他の文に付かず独立した文を形成することもできる。

× For he is rich, he is happy.	彼は金持ちだから、彼は幸せだ。
○ Because he is rich, he is happy.	
○ He is happy, because he is rich. <small>☞ 従属接続詞節の前にカンマが入ると非制限用法になるので注意。</small>	彼は幸せだ、なぜなら彼は金持ちだからだ。
○ He is happy, for he is rich,	

forは等位接続詞であるがゆえ、文の先頭で用いた後に主節を続けて置くことはできない。

8 等位接続詞yet

❖ ^{イエット} yet <主語> <動詞> : しかしそれでも、<主語>が<動詞>する。	
He tried hard, yet he could not succeed.	彼は一生懸命にやってみた、しかしそれでもうまくいかなかった。
It is a strange yet true story.	それは不思議だが本当の話だ。
Yet what is the use of it all?	でもそれが一体何の役に立つというのか？

等位接続詞yetは、butに近い逆接の意味になる。

9 等位接続詞nor

❖ ^{ノア} nor <助動詞> <主語> <動詞> : <主語>はまた<動詞>もしない。	
❖ nor <be動詞> <主語> <補語> : <主語>はまた<補語>でもない。	
❖ A nor B : AでもBでもない。	
I'm not going to buy it nor is Tom.	私はそれを買うつもりはないし、トムも同様だ。
"I didn't see it anywhere." " Nor did I."	「私はそれをどこにも見なかった。」 「私もです。」
Neither he nor I want the job.	彼も私もその仕事はしたくない。
I have <u>never</u> been there, nor will I go.	私はそこへ行ったこともないし、これからも行くことはないだろう。

等位接続詞norを用いた等位節は**倒置**になる。norに関する詳細は相関接続詞プリントおよび倒置構文プリントを参照。